

出資法人等評価・カルテシート（令和8年度分）

商法法人以外

1 出資法人等の概要

団体名	公益社団法人 豊中市シルバー人材センター		
所在地	豊中市北桜塚 3-1-28	所管部局・課	市民協働部 くらし支援課
設立年月日	昭和 56 年 6 月 30 日	代表者	理事長 中井 敬二
資本金等		うち市出資額（率）	円（ %）
設立目的	定年退職者等の高年齢退職者（以下「高年齢者」という。）の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務（当該業務に係る労働力の需給の状況、当該業務の処理の実情等を考慮して厚生労働大臣が定めるものに限る。）に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。		

2 役員・職員関係

各年4月1日現在

		R6			R7			R8		
			市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB
役員	常勤	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	非常勤	11	1	0	11	1	0	10	0	0
職員	常勤	9	0	0	8	0	0	7	0	0
	非常勤	1	0	0	5	0	0	6	0	0
役員の平均年間報酬（R7年度、千円）※常勤のみ		無			職員の平均年間給与（R7年度、千円）・平均年齢 ※常勤のみ			4,975 千円・50.0 歳		

3 財務関係

損益計算書		金額（千円）		
		R5	R6	R7
	総収入	684,553	652,016	661,229
	（うち市受入金）	35,100	33,100	33,100
	総費用	667,742	621,901	627,168
	経常損益	16,811	30,114	34,060
	当期損益	16,811	29,713	34,060

貸借対照表		金額（千円）		
		R5	R6	R7
	資産の部合計	227,264	257,518	289,928
	負債の部合計	77,963	78,503	76,853
	（うち有利子負債）	0	0	0
	純資産	149,301	179,015	213,075
	利益剰余金	149,301	179,015	213,075

4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		R5	R6	R7	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金	35,100	33,100	33,100	
		35,100	33,100	33,100	シルバー人材センター事業
	委託料	168,620	166,603	167,613	放置自転車等一括業務、公園多機能便所清掃業務など
	指定管理委託料				
	その他				
計		203,720	199,703	200,713	
ストック	貸付金残高				
	債務保証残高				
	損失補償残高				
	出資金				
	その他				
計					

5 経営の状況

(1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	R5	R6	R7
就業機会確保事業	仕事を実施した件数 会員へ就業機会の提供	契約件数 就業率(派遣除く)	3,000 件 64.9%	1,856 件 66.0%	1,510 件 61.1%
労働者派遣事業	会員へ就業機会の提供	延べ就業人数 契約件数 就業率(派遣含む)	41,352 人 255 件 84.1%	42,549 人 237 件 86.1%	40,240 人 272 件 79.8%
有料職業紹介	会員へ就業機会の提供	延べ就業人数	15 人	0 人	0 人
普及啓発事業	豊中市高齢者に対する加入率	粗入会率	1.3%	1.26%	1.35%

(2) 財務指標

指標	視点	内容	R5	R6	R7
市受入金比率 市受入金／経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	5.12	5.07	5.01
人件費比率(%) 人件費／経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	12.39	11.33	11.57
管理費比率(%) 管理費／経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	1.34	1.39	1.41
正味財産比率(%) 正味財産合計／(負債＋正味財産合計)×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	65.69	69.51	73.59
固定比率(%) 固定資産／正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表します。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	45.01	56.29	62.69
流動比率(%) 流動資産／流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	248.81	269.84	268.98

ア 給与体系

イ 情報公開

ウ 指定管理者の状況

6 経営上の課題

- ## 7 経営改革の取り組み（令和7年度）

項目	取り組み内容	今後の課題・方向性
第3期中期事業計画 の取り組み	事業計画や事業実績、組織運営体制の目標達成に向け、各種委員会・部会・事務局等が一体となり事業を進めた。 中間期での進行管理および数値目標の確認をおこない、今後の事業計画の再確認をおこなった。	目標数値の達成および次の計画に向けて、センターとしての独自性を生かし、高齢者に合わせた就業と、現在の地域の抱える課題を解決していく

8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
必要性 ・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか	センターは、高齢者の生きがいづくりと地域社会への貢献を目的として、多様な就業機会の提供に努めた。会員拡大については、入会説明会の開催や広報活動を継続し、新規会員の確保に取り組んだ結果、会員数は増加した。また、女性会員の入会促進やハローワークと連携した企業退職予定者層への周知活動を実施した結果、女性会員が大幅に増加するなど、会員拡大において一定の成果を上げることができた。 80歳を超える会員についても、それぞれの能力や健康状態に応じた就業機会の確保に努め、高齢会員の継続就業の推進を図った。一方で、会員の高齢化が進む中、安全に就業できる環境整備や就業機会のさらなる確保が課題となっている。 また、長期在籍会員が全体の4分の1を占めていることから、センター事業が高齢者の生きがいづくりや社会参加の場として定着し、地域社会に貢献する役割を果たしているものと評価できる。	人生100年時代を見据え、地域の高年齢者が就業を通じて社会参加を継続し、地域社会に貢献できる機能を一層強化するため、事業内容の充実と環境整備を進める。 特に、会員拡大を最重要課題として位置づけ、女性会員のさらなる参画促進や、企業退職（予定）者層への効果的な周知・働きかけを強化する。また、既存会員の就業機会の確保や多様化を図ることで、満足度の向上と退会抑制に取り組む。 加えて、高齢化の進展を踏まえ、80歳を超えても無理なく安心して活躍できるよう、安全面に配慮した就業環境の整備や、就業機会の適正なマッチングを推進する。 さらに、地域ニーズの変化を的確に把握し、会員の経験・技能を活かした新たな就業分野の開拓にも取り組むことで、センター事業の持続的発展と地域貢献の一層の推進を図る。
効率性 ・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか ・組織体制、人事給与水準は適正か	センターは、会員主体の運営を基本とし、会員が自らの経験や能力を活かして事業に参画することで、人的資源を最大限に活用した効率的な組織運営を実現している。事務局はその運営を支える役割として、法令や社会情勢の分析を踏まえた的確な事業提案を行い、機動的かつ柔軟な運営体制を構築している。 また、会員を事務局業務に取り入れることで、現場ニーズを迅速かつ的確に把握できる体制が整っており、利用者・会員双方にとって実効性の高いサービス提供につながっている。 さらに、事務処理のデジタル化を着実に推進した結果、会員情報の管理、就業申込み、情報伝達の効率化が進み、利便性の向上とともに事務負担の軽減および経費削減を実現している。	引き続き、会員の能力や経験を活かした運営体制を強化し、研修や講習会を通じてスキル向上を図ることで、新たな就業機会の創出と事業領域の拡大につなげていく。 また、デジタル化のさらなる推進により、業務の効率化とサービスの質の向上を両立し、より利便性の高い運営体制の構築を目指す。 法人運営においては、経費の適正化と予算管理の高度化を継続しつつ、将来の制度改正や経営環境の変化にも柔軟に対応できる持続可能な財務基盤の確立を図る。 今後は、限られた経営資源を最大限に活用しながら、効率性と効果性の両立を意識した運営を推進し、安定的かつ発展的な事業展開につなげていく。
有効性 ・意図する成果に有効に結びついているか	センターは、60歳以上であれば年齢にかかわらず、就業意欲と能力を有する者が入会できる開かれた仕組みを有しており、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、多様な就業機会の提供に努めている。会員の希望に応じた就業機会の確保と、発注者の多様なニーズに対する柔軟な対応により、地域における貴重な労働力の確保に寄与している。 また、「会員自らが創意工夫をもって事業を実施する」という基本原則のもと、会員主体の事業展開を推進しており、それぞれの経験や技能を活かした活動が新たな就業機会の創出につながっている。これにより、高年齢者の生きがいの充実と社会参加の促進という目的に対して、着実に成果を上げている。	今後は、特に80歳以上の会員における就業機会が限定的である現状を踏まえ、身体的負担の少ない業務や短時間就業など、新たな職種・就業形態の開拓を進める。 また、会員数の増加および定着促進に向けては、多様な就業機会の提供が不可欠であることから、法令遵守を徹底しつつ、発注者ニーズの的確な把握に努め、既存事業の充実強化とあわせて新たな分野への展開を図る。これらについては、会員の能力や適性に応じ、無理のない形でのマッチングを推進する。 さらに、会員に対しては希望職種の見直しやスキルの幅を広げる意識づけを行い、新たな分野への挑戦を促進することで、就業機会の拡大と個々の活躍の場の創出につなげていく。

総合評価	センターが提供する生きがい就業を中心とした臨時的・短期的かつ軽易な多様な就業は、年齢にかかわらず幅広い高齢者を受け入れ、それぞれの能力や意欲に応じた就業機会を提供することで、安心して働ける環境の整備と社会参加の促進に寄与している。 従来の経験にとらわれず新たな職種に挑戦できる機会の創出に取り組み、高齢者の自己実現や生きがいの充実につなげている点は、自身の成果として評価できる。さらに、デジタルデバйд解消に向けた取組についても、高齢者が気軽に参加できる形で推進しており、就業機会の拡大や情報取得手段の向上において一定の成果を上げている。 これらの取組を通じて、センターは地域社会における高齢者の活躍の場として重要な役割を果たしている。	センター事業は、地域の高齢者が地域の中で活動し続けるための基盤として、生きがいや健康の保持・増進に大きく寄与している。今後も、多様で柔軟な就業体系を活かし、地域に必要とされる存在としての機能強化を図る。 そのため、会員の満足度向上に取り組むとともに、就業機会のさらなる多様化や柔軟化を進め、より多くの高齢者が参画できる魅力あるセンターづくりを推進する。 また、地域ニーズの把握と新たな事業分野の開拓を進めることにより、会員のみならず地域全体にとって価値のある事業展開を図り、持続可能で発展的な運営を目指す。
------	---	--

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
団体の存在意義 (必要性) ・ 出資目的は薄れていないか ・ 市の施策の方向性に適合しているか	豊中市シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律（以下「法」という。）に基づき、高齢者の希望に応じた臨時的・短期的な就業機会や軽易な業務を提供することで、生きがいの創出、健康の保持増進及び社会参加の促進を図っている。これらの取組みは、高齢者の能力や経験を地域社会の活力につなげるものであり、地域社会に大きく貢献している。 また、人生 100 年時代を見据えた高齢者の活躍の場の確保は、市の施策の方向性とも一致しており、今後もセンターが担う機能は重要であると考えている。	高齢者の就業ニーズが多様化する中、年齢や性別にかかわらず誰もが安心して参画できる就業機会の提供が求められている。特に、女性会員や企業退職（予定）者層への働きかけを強化するとともに、既存会員の満足度向上や退会抑制に引き続き取り組んでいただきたい。 また、高齢者の経験や能力を活かした地域貢献活動を推進し、より多くの高齢者が活躍できる環境整備を進めていただきたい。
団体の活動領域 (効率性・有効性) ・ 出資法人等を活用するメリットはあるか ・ 出資法人等にしかできないことか	センターは、法に基づき設置された団体として、高齢者の希望に応じた多様な就業機会を提供するとともに、生きがいづくりや健康の保持増進、社会参加の推進に寄与している。 また、会員の経験や技能を活かした事業展開に加え、事務処理のデジタル化や情報提供の充実など、効率的な運営体制の構築にも取り組んでいる。限られた経営資源の中で創意工夫を重ねながら事業を展開しており、今後も地域ニーズに応じた多様な就業機会の創出を期待している。	引き続き、地域の多様なニーズに対応した就業機会の創出とマッチング機能の向上に取り組んでいただきたい。特に、会員の高齢化が進む中、80 歳を超えても安心して就業できる職域の開拓や就業環境の整備を進めていただきたい。 また、ICT の活用をさらに推進し、会員サービスの向上と業務の効率化を図ることで、持続可能な運営体制の確立につなげていただきたい。

団体と市との関係性 (効率性・有効性) ・事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか ・市の関与は適切か	センターが提供する就業機会は、高年齢者の生きがいづくり、健康の保持増進及び社会参加の促進に寄与しており、市が推進する高齢者施策にも貢献している。 また、市は補助金の交付や役員派遣に加え、政策目的随意契約(3号随契)の活用促進などを通じてセンターとの連携が図られている。	今後は、より多くの高年齢者が地域で活躍できる環境づくりに向け、市や関係機関との連携をさらに強化し、地域課題の解決や地域活性化に資する事業展開を進めていただきたい。 また、新規会員の獲得や退会抑制に加え、地域住民や企業との協働を進めることで、センターの社会的役割と地域への貢献度をより一層高めていただきたい。
総合評価	高齢化が進行する中、高年齢者の就業機会の確保、生きがいの充実、健康の保持増進及び社会参加の推進はますます重要となっている。センターは、高年齢者の経験や能力を地域の力として活かす仕組みを提供し、活力ある地域社会づくりに大きく貢献している。 また、デジタル化の推進や新たな就業機会の創出に取り組むなど、社会情勢の変化に対応した運営を進めている。引き続き、地域の高年齢者が安心して働くことができる環境づくりを推進していくことを期待している。	高年齢者の豊かな経験や知識を地域の力として活かすため、多様な就業機会の提供と地域課題に対応した事業展開を進めていただきたい。特に、80歳を超えても安心して活躍できる環境づくりや、会員満足度の向上による退会抑制に引き続き取り組んでいただきたい。 また、多様な人材が参画できる魅力あるセンターづくりを進めるとともに、持続可能な運営体制の確立に向けた取組を期待している。